



No.348

2021.1.1

【発行】
 国土交通省管理職ユニオン
 東京都千代田区霞ヶ
 関2-1-2 中央合同
 庁舎2号館
 03-3509-1138
 k-union@alpha.oc
 n.ne.jp
 http://www.k-uni
 on.network/

新年号

2021年

「国民の生命と財産を守る」「社会インフラの整備拡充」を真にやり甲斐のある仕事へ!

新年、あけましておめでとうございます。新年を迎え、国土交通省管理職ユニオンを代表し挨拶させていただきます。



国民の国交省に対する期待は高まっている!

近年は気候変動による災害が頻発しています。その復旧事業に携わる皆さん、また、テックフォースの一人として被災地調査、自治体支援に奮闘された皆さん、そして、職場の皆さん、本当にご苦労様です。私も身も、過去、テックフォースの一員として被災地調査を行った際は、現場近くの住民の方から親切な案内を受け、「こころうさま」と暖かな言葉を頂いて、地元の方々の期待を肌で感じたところでした。

WLB「働き方改革」が実行できない職場!

国の施策として「月45時間、年360時間の超過勤務規制」やコロナ感染防止も兼ねて「テレワーク」

決して災害を期待するわけではありませんが、「気候変動」の時代においては、私たち国土交通省が持つ「全国組織としての機動力」と「公共事業官庁としての技術力」を発揮することが、より国民から求められているのだと思います。しかし、幾つかの問題点を感じることがあります。

私たちが問題と感じるのは、たとえば調査設計業務が「担当課で契約手続きがされている」事です。当然、私たちは、企業名を知っていただくことは、冷遇をすることはありませんが、マスキングされた「提出資料」の中でも業務実績

職場では、次年度発注の早期契約に向けて作業が始まっています。「公告」等のひな形の提示が遅く、修正も頻繁という事が、職場の忙しさに輪をかけています。

入札契約業務の透明性・公平性確保の中で、管理職員は守られるのか!

が推進されています。施策は、職員の健康と家庭を守ることに効果があると思えますが、公共事業を誠実に推進しようと思えば、履行できないケースが職場に散見されます。国土交通省の職場は、一日8時間でこなせない業務量になっていると言ったことです。

私たちが問題と感じるのは、たとえ調査設計業務が「担当課で契約手続きがされている」事です。当然、私たちは、企業名を知っていただくことは、冷遇をすることはありませんが、マスキングされた「提出資料」の中でも業務実績

気候変動の影響により、近年連続して災害が発生することから、国土「強靱化」関係の補正予算の作業が発生しています。国民の安全安心につながる改築・改修を早く進めたいと思うのは私たちの基本的な思いです。

補正予算ではなく、歳出予算の増額で計画が活かされる事業を!



等企業名が推定できません。契約結果に対し、企業から何らかの問題指摘がされた場合、この状態を放置したままで、担当した管理職員は守られるのか?の疑問を多く聞いています。また、この公平性を確保することは、業界からの信頼を増すことにつながると思っています。

要求実現 ★★★★★ 101人純増!

国土交通省は、12月21日に新年度組織・定員を公表。国土交通大臣は、同日の記者会見で「地方整備局101人の純増」と発言。2年連続で純増を勝ち取れたのは、運動を粘り強く取り組んだ成果です。

私たちが管理職ユニオンは、国土交通省が国民から信頼され、期待される省庁であればこそ、私たちの処遇も改善されると考えています。国民からの信頼と期待を得るためには、多くの職員が誇りと使命感を持って働く。そのためには、出張所や事務所や地整で裕達な議論が交わされる「民主的」職場を創っていきたく思います。

私たちの要求の実現には、職場の皆さんの支持とご理解が欠かせません。今年一年、職場の皆さんのご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

国土交通省管理職ユニオン
中央執行委員長 小原良一
(近畿支部 琵琶湖分会)

全国の仲間の皆様へ!

謹賀新年



ユニオンは職場の皆さんの声を要求に今年も奮闘します!

2021年、新しい年を迎え、全国の委員長・事務局長からの新年の抱負を紹介いたします。

ユニオンへの期待を感じる

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、支部大会も書面開催になるなど、役員をはじめ組合員とのコミュニケーションを図る場が無くなくなりました。そのような中で取り組んだ管理職アンケートでは、自由記入欄に様々な要求の外、励ましの言葉を頂き、ユニオンへの期待の大きさをあらためて感じることができました。

今年は、組合員と電話での対話を積極的に進めるなどの活動を行い、コロナが収束した時に「コロナは大変だったけど、組合としてこんなことをやって頑張った」と話せるような活動をし、コロナ禍の中で組合活動が「コロナ福」となりますように願い、新年の抱負とします。

東北支部 執行委員長 渡邊茂徳 (福島河川国道分会)



改善させる「力」を集めよう!

昨年は北陸支部にとって「結果が表れた」年となりました。増員要求では「純増」を勝ち取ることができましたし、管理職持手当では行政措置要求の勝利を支給範囲の拡大につなげることができました。とは言え、職場では長時間の超過勤務が蔓延しており、心身に不調を抱え、長期の病気休暇に追い込まれる職員が後を絶たない状況です。また、若年職員が採用数年で辞職することも大きな課題です。

真に働きやすい、働きがいがある職場に変革していくためには、増員や処遇、人事異動の問題などの改善を一つ一つ進めていく他にないと考えています。職場の声を聞き、要求として活動して改善させる「力」を集めるため、労働組合への結集を職場の皆さんに訴えます。ともにがんばりましょう。

北陸支部 執行委員長 森田義一 (新潟国道分会)



職場で実感できる増員のため

昨年4月には、国土交通省が発足してから初めて地方整備局の定員が増加に転じ、関東でも増員がされているはずですが、職場実態からすれば極めて不十分で、職場で「人が増えた」と感じられる状況ではありません。今年の4月も増員を勝ち取り増員の流れを定着させると共に、職場で実感できる増員のため、各職場で日々悩みながら仕事をしながら、管理職の皆さんと一緒に頑張りたいと思います。

関東支部 執行委員長 西澤純夫 (相武国道分会)



コロナに打ち勝ち春闘勝利!

昨年は新型コロナウイルスの影響で世界中が大変な一年でした。医療関係者の皆さん、ありがたうございます。我が家では、息子の結婚式が延期になり、恒例の年末旅行(京都・奈良)もキャンセルしました。今年は、コロナに打ち勝ち、世界中が平和・平穏になり、東京オリンピックが盛大に開催され、アスリートのパフォーマンス世界の人が歓喜に沸き、職場では、国交省管理職ユニオンの組織が大きくなり、春闘に勝利し、大幅な増員・処遇の改善を実現し、プロ野球界では、阪神タイガースが宿敵ジャイアンツを倒し、セントラルリーグ覇者となり、そして日本一に健康を第一に、明るく、楽しく一年を過ごしていきたいと思えます。

中部支部 執行委員長 上野好隆 (木曾川下流分会)



人の繋がり、未来志向で!

今年はコロナの影響で生活も仕事も大きく影響させられた辛い一年でした。ソーシャルディスタンスの中、改めて人と人が繋がることのありがたみを思い知らされたところで、コロナが収束するにはまだまだ時間がかかりそうですが、こうした環境さえも受け入れつつ、ユニオンの仲間たちと職場の未来に向けて話し合っていければと思います。今年も未来志向で!

中国支部 事務局長 末永敦 (高梁川・小田川河川分会)



白から赤に、初心に返って!

私たち管理職を取り巻く情勢は、ユニオン結成当時から大きく変化し厳しさを増しています。ユニオンがその先頭に立つて奮闘し、期待に応えていくことが重要です。そのために近畿支部は今年も全国の先頭に立つて奮闘する決意ですので共に頑張りましょう。

近畿支部 執行委員長 西野直均 (大阪国道分会)



全集中でくじけず頑張る!

「幸せ」という字は、辛いという字の上に付いているちよっぴりの点を十という字に変えると幸せになるんです。十分辛くて人は幸せになれるんです。くじけずに頑張ってください。」と中島みゆきさんがオールナイトニッポンで8年間のDJで最後にこの言葉を残して音楽に走り、大成功しました。

ピンチをチャンスに、四国も全集中でくじけず頑張りましょう!

四国支部 事務局長 向井洋一 (土佐国道分会)



コロナに負けず頑張ります!

地理支部では、今年も引き続き、職務評価の改善(国土地理院本院・管区機関・本省庁並み、地方測量部・府県単位機関・管区機関並み)と6級以上の定数拡大を強く要求していきます。特に地方測量部の課長はほとんどが5級で、管理職員であるにも関わらず5級で定年退職せざるを得ない状況もあります。地方測量部は多くの府県を管轄していることから、処遇面でも実態に見合った評価を要求しています。今年も要求前進に向けて頑張りましょう。

地理支部 執行委員長 井上武久

